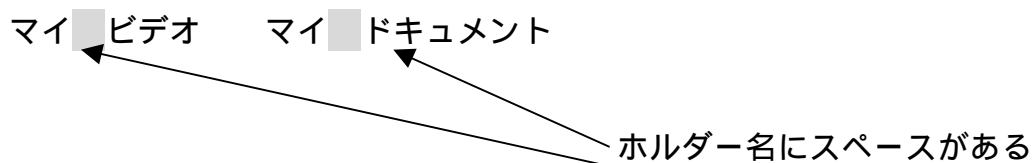


P - L A P 計測用ソフトウェアの使用説明

ダウンロードの注意事項



ホームページ上からダウンロードして P3.exe 解凍しますがマイ ドキュメントやマイ ビデオやデスクトップ等ホルダー名にスペースがあるホルダーやデスクトップ等に解凍してこのソフトウェアのホルダーを作成しても作動しません。必ずCドライブやDドライブなどのディスク上に解凍作成してください。ダウンロードしてデスクトップ上で解凍した場合に自動的にCドライブにホルダーを作成する形になっています。



デスクトップ画面でのホルダー作成は作動しません

(+. - . * 等の特殊文字の入っているホルダーも不可です)

操作手順 1

デスクトップ上に、P L A P 31EXE へのショートカットを作成しますのでクリック実行します。すると下記画面が現われます。

P-LAP

*SN 変更

*NicName

E-mail:

サーキット 識別ID

コース

車種

クラス

Team or Car Name (全角 15文字、半角 30文字)

日付 ベストタイム

データ読み込み, 保存

終了

Ver 0.1d 2009.1.20

データ読み込み、保存をクリックします

P-LAP データ管理

Date

Best Time

P-LAPから読み込み
P-LAPからデータを読み込みます

データの読み込み

データの保存

データの印刷

データの編集
データ編集画面を開きます

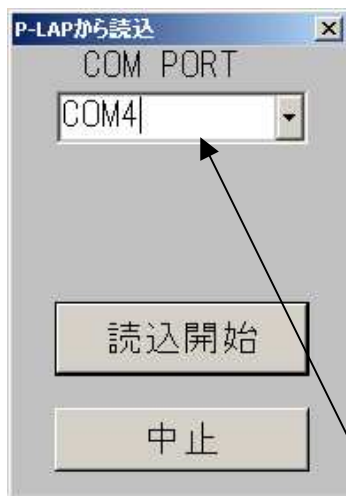
SYLK ファイル出力
Excelで編集可能な
ファイル形式で出力します

データ編集の前にデータの保存をオススメします。

戻る

P - L A P から読み込ををクリックします

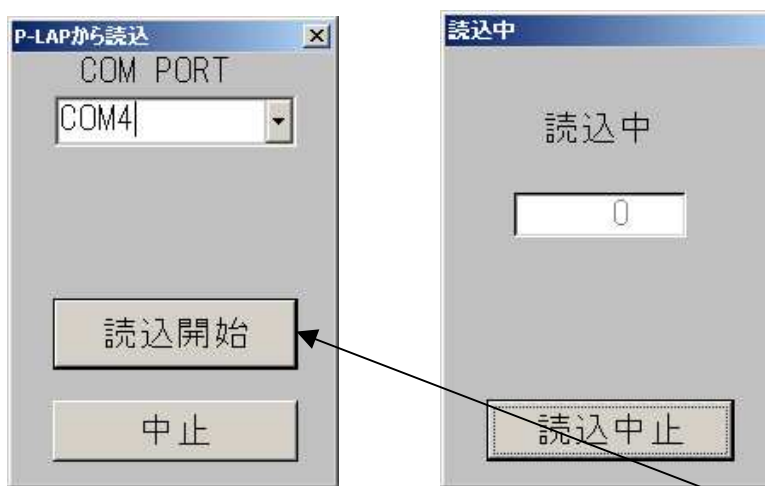
COMポートを指定してください



USBドライバーで指定されたCOM番号でなければデータは読み込みをしません。

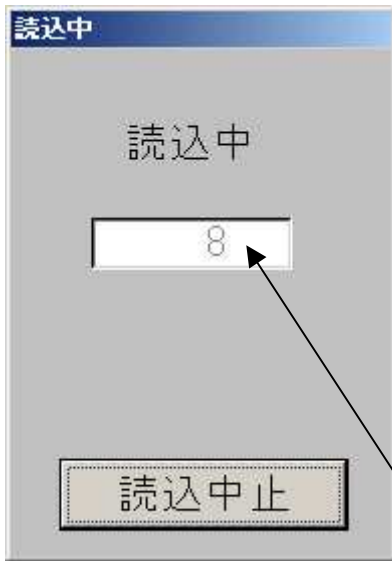
操作手順 2

P-LAPをパソコンに接続し電源を一度落としてから、MCボタンを押しながら ON/OFFボタンを押して立ち上げてください。P-LAP液晶画面にCOと表示されます。

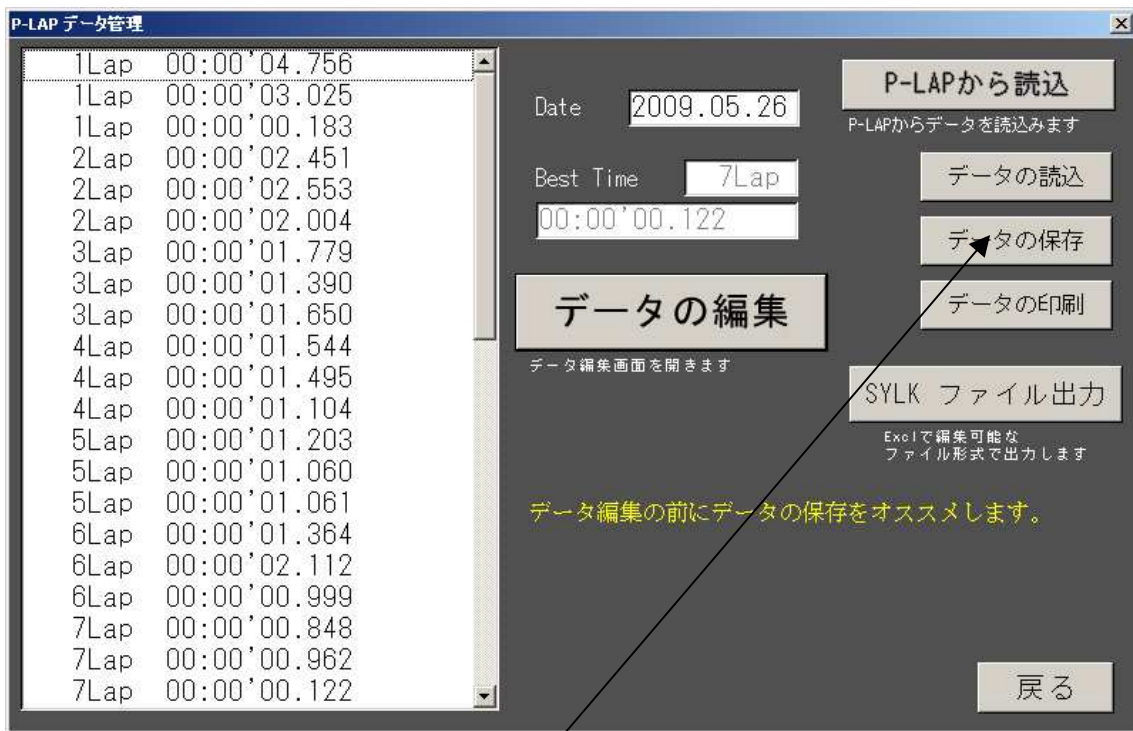


この画面になります

したらP-LAPのSTART/STOPボタンを押します。読込開始をクリックするとデータが読み込まれます。



データの読み込みが開始されます。



この画面になります。次に「データの保存」メニューをクリックしてください。

データ保存のダイアログパネルが出ますので、自分でファイル名を考え変更して保存する場所を指定し保存してください。

参考 ファイル名は自己の走行した日付けや時間なやコース名など、後に自分の記録を呼び出し判断できるようなファイル名が望ましいです。また保存する場所は計測走行データホルダーなどをあらかじめ自分のデータを管理するホルダーをこのソフトウェア以外のハードディスクドライブやシステムフォルダーなど以外にデータホルダーとして作成しておくのが便利です。



ファイル名を変更し保存をクリック

無題、P-LAP 2009.06.15.P-LAP 等に変更し保存すると後日確認の際、便利です。

操作手順 3 (計測したデータファイルをエクセル等で確認する)

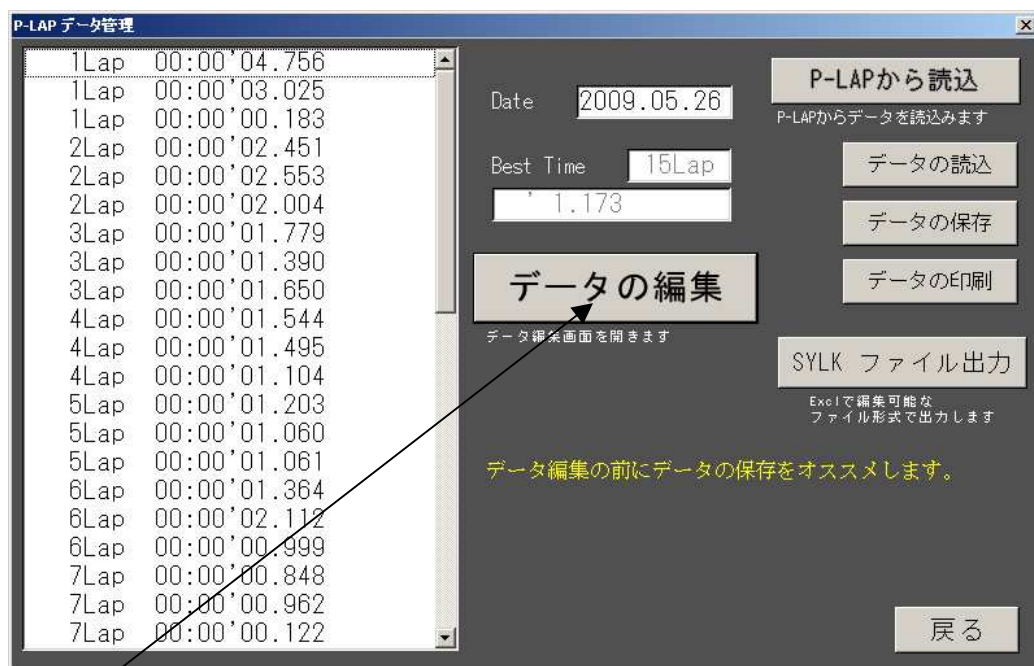
上記の操作手順 2 までの操作をして計測したデータファイルが出来上がった状態からの操作説明です。現在の状態はパソコン上では、P L A P 31EXE(計

測用ソフト)は動作されたままです。パソコン上の内部メモリーなどが容量に余裕のある作動環境であれば、このままデスクトップ上のマイコンコンピューターアイコンやエクスプローラー等で計測をしたファイルを見つけ出しクリックしてエクセル等の表計算ソフトを起動させます。 **エクセル等の表計算ソフトがインストールされていない場合はデータファイルは開けませんのでご注意ください。**この場合は、表計算ソフトをインストールしてから使用してください。また、PLAP31EXE とエクセルを同時に作動させている場合には古いパソコン等は動作が緩慢になる場合もあります。

計測データの修正作業

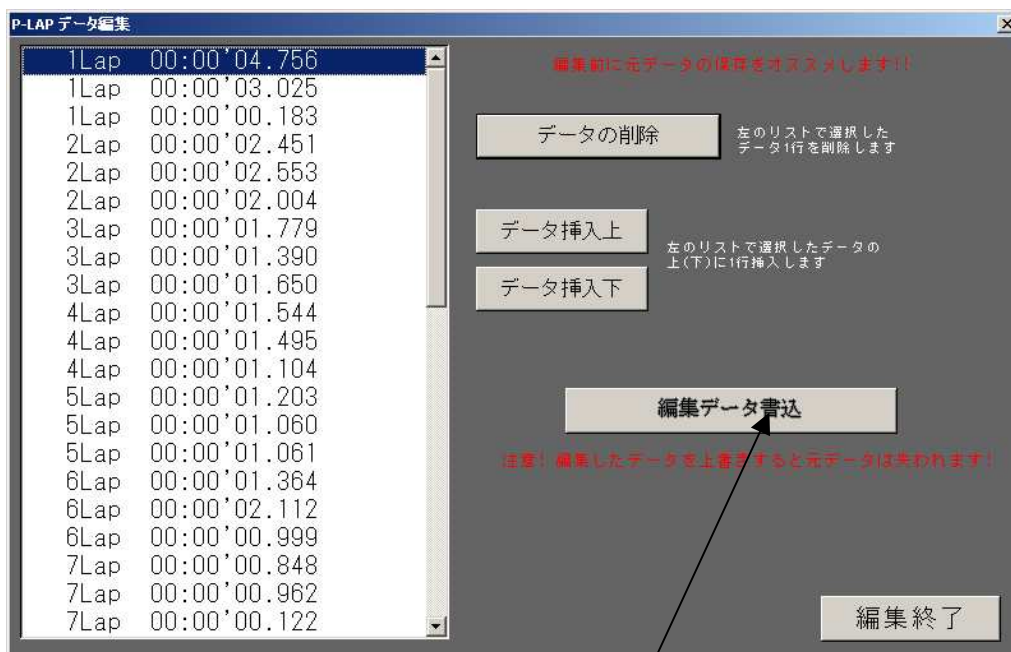
エクセル等で見た計測データに問題がある場合(データの計測漏れ等)

3点間計測のデータがスムーズに計測できていれば問題ありませんが、誤データや計測漏れなどがあり修正をする場合には以下の手順操作をお願いします。



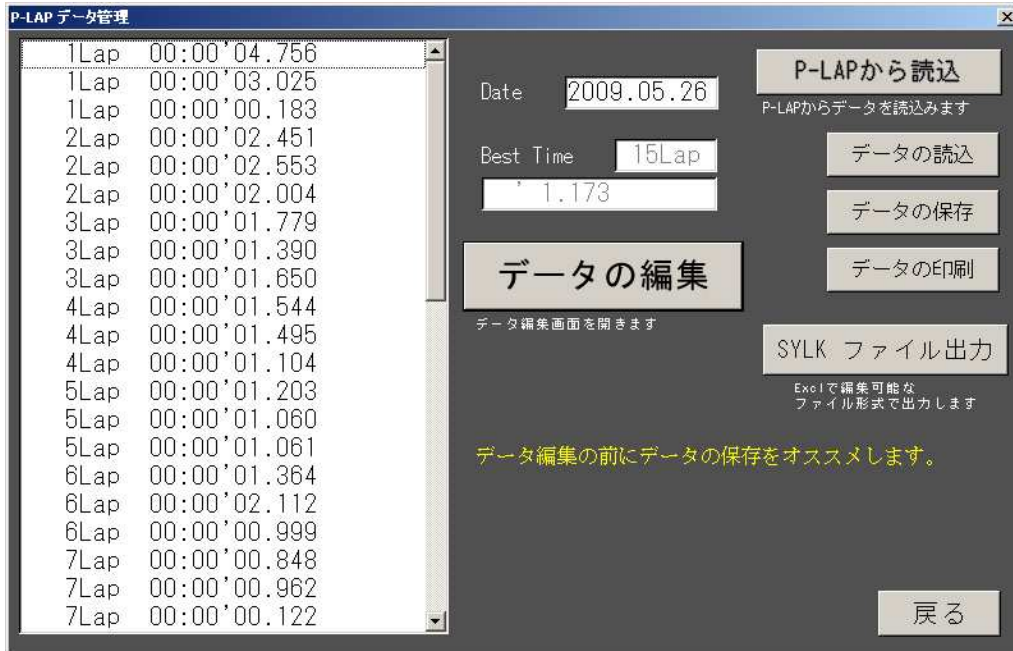
データの編集メニューをクリックし編集画面を開く

次の修正画面になります。

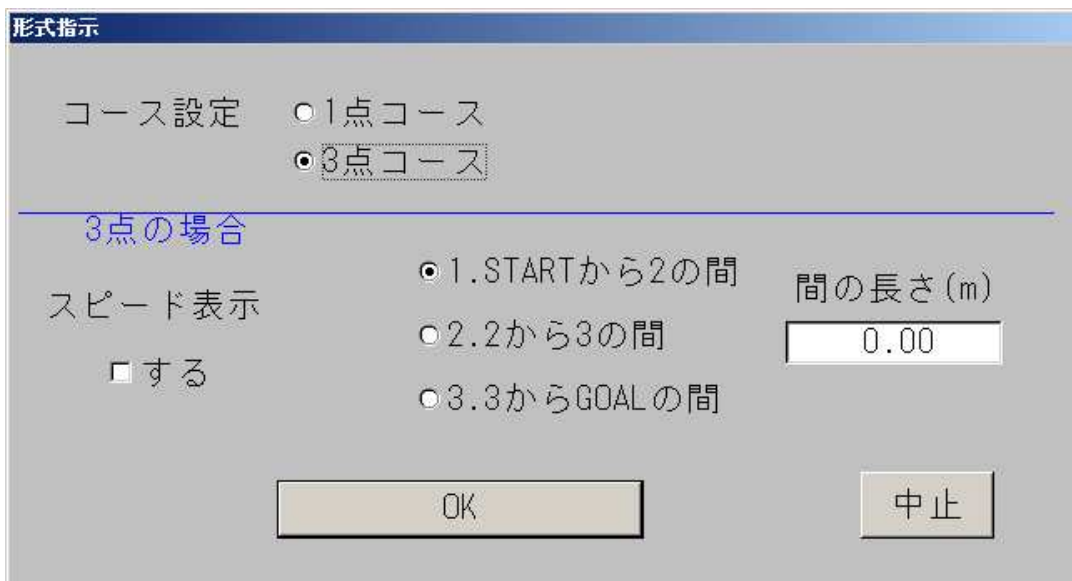


ここではデータの削除とデータの挿入が出来るようになっています。余分なデータがあればデータ削除で削除してください。また3点間のデータは1周が3つのデータが基本です。どこかで1箇所のデータが計測できなかった場合はデータ挿入で空白データを挿入してください。この処理をしないと、1回でも抜ける事で全体データの構成がおかしくなりますのでご注意ください。(データが繰り上がってしまうため) 修正したデータは再度確認後、編集データの書き込みをします最初の計測データに上書きをします。

操作手順 4 SYLKファイルで出力する



データの保存や修正作業が終わり最終的にデータが出来上がったら
SYLKファイルで出力する（エクセルで編集可能なファイルでファイル
出力します）を行ってください。下記の表示が現われます



コース設定、3点コースを選択して下さい。

将来、磁石の埋設場所によりスピード表示を考えておりますが、今回の埋設方法に対応していない為、3点の場合以下の部分にはチェックを入れないで下さい。



次にファイル作成のダイアログパネルが出ますので、計測ファイル名を自管理出来るようなファイル名をつけてファイルセーブをしてください。例 2009.06.15.P-LAP.SLK

Lap	LapTime	LapTime(sec)	P1	P2	P3
1	' 7.964	7.964	4.756	3.025	0.183
2	' 7.008	7.008	2.451	2.553	2.004
3	' 4.819	4.819	1.779	1.39	1.65
4	' 4.143	4.143	1.544	1.495	1.104
5	' 3.324	3.324	1.203	1.06	1.061
6	' 4.475	4.475	1.364	2.112	0.999
7	' 1.932	1.932	0.848	0.962	0.122
8	' 4.126	4.126	1.381	1.22	1.525
9	' 2.117	2.117	0.864	0.692	0.561
10	' 2.534	2.534	0.898	0.832	0.804
11	' 2.987	2.987	1.548	0.657	0.782
12	' 3.069	3.069	0.783	1.496	0.79
13	' 3.053	3.053	1.437	0.802	0.814
14	' 1.274	1.274	0.398	0.462	0.414
15	' 1.173	1.173	0.423	0.359	0.391
16	' 2.634	2.634	0.306	0.365	1.963
Potential BestTime	' 0.787	0.787	0.306	0.359	0.122

上記のような表計算ファイルが作成されます。

ご注意と参考

エクセル等の表計算ソフトの操作等や表の取り込み時のエラー等、P-L A P 計測ソフト以外のデータでのファイルエラーや破棄、パソコンの機能不良による等の保証や質問についてはサポートできません。貴重なデータはご自分の責任で管理をお願い申し上げます。

パソコンの仕様・内容によるお問い合わせは、ご遠慮ください。